



～学びを止めない“PTAの新しい活動様式”の実践～

是非、みなさまのお力添えで、本年度のスローガン「みんなで育とう!! 子どもとともに、学びを止めない”PTAの新しい活動様式”の実践」に基づいて大切な子どもたちの学びをオール福岡で持続的に支援し、われわれ大人もまたレベルアップできるような活動をして共に学んでいきましょう。みなさまのご理解とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

令和3年度の大きな事業のひとつとして、新型コロナウイルス感染症拡大防止に対応した活動方法として、オンライン会議、ホームページの活用などのIT技術を使っていくために、特別委員会の中に「IT特別委員会」を設立し、みなさまのPTA活動のお役にたてていただけるよう努めて参ります。

令和3年度、福岡市PTA協議会会長を拝命しました岡村耕二と申します。どうぞ、よろしくお願ひいたします。新型コロナウイルス感染症拡大による影響が長引いておりますが、会員のみなさまにおかれましては、お仕事や家庭で、この1年で経験したことを活かして状況を良くしようさまざまな工夫をされていることだと思います。

さて、昨年は、担当副会長代表者会のご尽力で「担当副会長ガイドブック」が発行されました。単位PTAや区連での対面による引き継ぎが困難な状況の中、このガイドブックを活用していただけたこと思います。

各単位PTAでは解決できないことでも、別の単位PTAからの情報や助言で解決できることがあります。このような課題解決のためには、単位PTA間での交流の促進をすること、さらには福岡市教育委員会や経験豊富な単位PTAからのさまざまな役立つ情報やノウハウを蓄積し会員間で共有すること、また、各行政区や各単位PTAの状況を把握したうえでしっかりと支援するこ

とが、福岡市PTA協議会の大重要な機能の一つだと考えています。

新会長挨拶

福岡市PTA協議会
会長 岡村 耕二



発行所
福岡市中央区天神1丁目10-1
市庁舎北別館
福岡市PTA協議会

発行人
会長 岡村耕二
広報委員会



福岡市PTA協議会
ホームページ
<http://www.fukuokacitypta.jp>

福岡市PTA 検索

印刷 (株)西日本新聞印刷



福岡市PTA協議会

定期総会

5月27日、福岡市PTA協議会第50回定期総会が行われました。コロナウイルス感染症による緊急事態宣言期間中での開催となりました。オンライン(Zoom)で2倍の方がオンラインで参加されました。

第1号議案令和2年度事業・活動報告、第2号議案決算報告ならびに監査報告では、コロナ禍で例年行われている活動や研修会を中止せざるを得ない苦しい状況の中で、研修会をオンラインで行うなど、新たな活動を模索・実施してきたことが報告されました。第3号議案令和3年度事業・活動計画案、第4号議案予算案が提出され、これまでの活動を大切にしながら、昨年度の経験を活かし、アフターコロナの新しい活動スタイルへの取り組みなどが提案されました。また、第5号議案令和3年度役員・会計監査案が提出され、いずれも賛成多数で承認されました。

オンラインでの定期総会は、移動時間もなくなり、スマートフォンなどからも参加できることもあり、参加しやすくなつたというお声をたくさんいただきました。一方で、やり方がわからない、オンラインだと質問をしづらいなどのご意見もありました。対面のよさ、オンラインのよさ、それぞれあると思います。PTAの新しい活動様式の実践へ。岡村耕二新会長のもと、令和3年度の福岡市PTA協議会がスタートしました。

突然の休校によって、学校現場はもちろん、家庭も勤め先も大混乱。カリキュラムや行事、入試がどうなるかもわからず、9月入学の議論まで。そうした状況が3ヶ月にも及び、ようやく学校再開というタイミングで令和2年度の活動はスタートしました。PTA活動も、例年通りでは通用しないことは明らかでしたが、具体的に何をどうすればいいか、手探りでした。「子どもたちの学びを再び止めない」「PTAの新しい活動スタイルを模索する」判断に迷った時は、ここに立ち返るよう心がけました。

新型コロナウイルスとの向き合いを通じて、PTA活動の在り方を見つめるきっかけを与えられたようにも思えます。

同時に、子どもたちが普通に通学し学校生活送ることができるありがたさを改めて感じました。福岡市のすべての子どもたちにとって、学校が魅力にあふれる場所であり、かけがえのない場所で在り続けて欲しいと願います。そのために、PTAに何ができるのか。まだまだいろいろな可能性と選択肢があるようになります。



退任会長あいさつ



佐伯 拓史

岡村新会長はじめ新役員は、熱く、「脱コロナ」に向けた新しい取り組みの道筋を照らして下さるはずです。この1年間、不自由な状況の中で子供たちを笑顔にしたいという気持ちにたくさん勇気をいただきました。そして、逆境を乗り越えて行く子どもたちの成長ぶりに元気をもらいました。心から感謝申し上げます。ありがとうございます。

福岡市PTA協議会

令和3年度新役員・理事のご紹介

役員



副会長
古賀 正雄
(堅粕小)



副会長
川添 浩美
(香椎第2中)



副会長
奥田 博子
(多々良中央中)



会長
岡村 耕二
(別府小)



鶴田 善弘
(次郎丸中)



中島 信行
(若久特支)



山口 猛虎
(春吉小)



副会長
力丸 美和代
(西陵中)



副会長
波多江 真一
(田隈中)



副会長
中沢 亘
(原中央中)



副会長
豊澤 絵里奈
(生の松原特支)



副会長
坂元 ゆかり
(高宮中)

校長会



中学校・特P連代表者会



辻 隆志
(早良区 高取中)



西島 勝也
(西区 壱岐中)



副議長
河上 達郎
(城南区 城西中)



議長
立木 春香
(若久特支)



笠 貴則
(東区 箱崎中)



廣田 満
(博多区 三筑中)



中通 将貴
(中央区 春吉中)



増田 康平
(南区 宮竹中)



野口 直樹
(城南区 田島小)



江藤 憲一
(西区 愛宕小)



副議長
西田 幸次
(早良区 原北小) 議長
平原 義紀
(博多区 東住吉小)



宮路 享
(東区 香椎浜小)



高柳 徹
(中央区 平尾小)



永岡 修一
(南区 大池小)

小学校代表者会

担当副会長代表者会



初田 聰子
(西区 壱岐丘中)



宮崎 仁恵
(東区 松島小)



上田 恵美
(博多区 東住吉小)



平野 千春
(中央区 小笹小)



陣内 綾子
(南区 西高宮小)



福永 奈美
(城南区 片江小)



佐藤 奈保
(早良区 飯倉小)



古庄 綾
(西区 壱岐小)



舟橋 直美
(南福岡特支)



兼城 三由紀
(東区 松崎中)



高橋 美恵
(博多区 吉塚中)



江川 未来
(中央区 平尾中)



深野 舞衣子
(南区 柏原中)



増田 直美
(城南区 梅林中)



大窪 雅子
(早良区 百道中)

福岡市PTA協議会 令和2年度新役員・理事のご紹介

広報委員会高田 陽子
(博多区 那珂小)坂本 孔明
(中央区 福浜小)桂木 昌宏
(南区 西花畠小)大平 洋平
(城南区 金山小)森 幸太郎
(西区 元岡小)会計 稲富 絵美
(早良区 小田部小)副委員長
川畑 亜貴人
(城南区 片江中)委員長
辻 宗志
(西区 玄洋中)瀧田 文隆 校長
(吉塚中)森 春樹 校長
(塩原小)裴田 泰史
(東福岡特支)吉原 雅子
(東区 箱崎清松中)茂末 岳
(博多区 博多中)諫山 隆史
(中央区 警固中)下津浦 弘孝
(南区 高宮中)柳本 亜由美
(早良区 原中)仮屋 崇
(東区 照葉小中)**研修委員会**小島 賢二
(西区 下山門中)高木 昇
(東区 美和台小)末永 浩二
(城南区 南片江小)佐々木 淳
(早良区 百道浜小)会計 木村 剛
(博多区 東月隈小)書記
秋間 武志
(中央区 小篠小)副委員長
江口 善登
(南区 玉川小)委員長
三角 秀幸
(西区 今宿小)大場 隆一 校長
(香椎第1中)沖本 昌美 校長
(田島小)田津 昌昭
(屋形原特支)村田 尚巳
(東区 多々良中央中)門田 千帆
(博多区 那珂中)尾閥 幸一郎
(中央区 舞鶴中)川上 陽平
(南区 三宅中)沓名 賢二
(城南区 友泉中)原田 健太郎
(早良区 次郎丸中)**教育問題委員会**佐々木 良信
(博多区 三筑小)築城 昌拓
(城南区 堤丘小)沖田 由香
(早良区 大原小)井野 美和子
(西区 愛宕浜小)会計 勝木 謙子
(西区 西陵中)書記
福島 優一
(中央区 春吉小)副委員長
廣島 文生
(東区 若宮小)委員長
白水 陽介
(南区 三宅小)王丸 康夫 校長
(香椎第3中)田澤 秀樹 校長
(香陵小)石田 美和
(生の松原特支)平井 卓
(東区 福岡中)富田 奈美
(博多区 千代中)江口 正憲
(中央区 当仁中)清水 主
(南区 老司中)高尾 哲朗
(城南区 梅林中)佐藤 淳哉
(早良区 金武中)



福岡市PTA協議会と教区委員会の共同開催による「PTA啓発研修大会」が、令和3年2月13日にライブ配信で行われました。今回は、「大人が子どもたちのためにできること!」をテーマに林田スマ先生を講師にお迎えして、「第一部 保護者との座談会」「第二部 林田スマ先生の講演会」「第三部 林田スマ先生による学校に講演で行き、先生から聞いたこと。今の子どもたちはおもろは大きくなりない。りょうさん。勉強は良くできるが、ひとつ気になることがある。「しつけ」のフィルターを通過していく」といった内容で、座談会と講演会を行いました。



「第一部 保護者との座談会」では、4つのテーマ「スマホ」「招集」「対面での活動」「ストレス」「お金」について保護者をまじえ座談会を行いました。

●「スマホ」…コロナ禍によって子どもも自身が自宅で過ごす機会が多くなりスマホやタブレットを利用する時間が長くなり、親として不安に感じている。子どものスマホ利用について、今やネットが当たり前の時代において、子どもにも理解、納得のできる家庭にあります。

●「招集」…コロナ禍のPTA活動について、対面が原則の活動(総会、給食試食会、ベルマークなどの集計作業)は全てストップした。他校ではどのよう取り組みで活動を実施しているのか知りたい。

●「お金」…お金について子どもたちにどのように伝えてけばよいのか?

●「ストレス」…コロナ禍により子ども大人もストレスを抱えた1年だった。

「第一部 林田スマ氏 講演 Pス

マ(ピースマ)」大人が子ども達のためにできること」では、働きながら二人のお子さんを育てた経験を交えてお話をいただきました。

子育ては幸せで素晴らしいこと

でも大人が冷静に何で

逃さないよう、大人が冷感に何で

話せる(受け止める)「家族の在り

ます。

人が助けてくれる。「巻き込む力」

が大事で、「私の子育て、良かった

ら手伝ってください」「何かあつ

たらご意見ください」と繰り返す

こと。保護者の価値観だけでは子

どもは大きくならない。

ある学校に講演で行き、先生から

聞いたこと。今の子どもたちはお

りょうさん。勉強は良くできるが、

ひとつ気になることがある。「しつ

け」のフィルターを通過していくな

い。

●「言葉」は口から出てくる生きもの、宝もの。人の心に効くのか、突き刺されるのか。言葉には、消しゴムは使えない。量ではなく、質の良い言葉を。

林田先生の言葉のなかには、「子育てはまりませんでした。色々な子どもがいるので、もう少し多様性の面を持たせていただけると、ありがたいなと思いました。」

●「スマホ」…オンラインでできる事はないかと模索していく中で、アンケートの集計など、対面での方法よりも早く楽に(合理的に)できる方法があることも実際にやってみて分かつてきました。今後は、「Witch」コロナ」として対面とリモートを使い分け、アナログとデジタルのハイブリッドで活動していくことが望ましい。そのためには、情報を収集し新しいことにチャレンジすることもこれからは大事なこと。

●「ストレス」…コロナ禍により子ども大人もストレスを抱えた1年だった。

コロナ禍による学校生活のさまざまなものを感じている。ストレスの表現や発散方法が分からず、内にため込んでしまう。子どもたちの変化を見逃せる(受け止める)「家族の在り

福岡市PTA協議会 PTA啓発研修大会



ました。
子育ては一人ではなく、いろんな人が助けてくれる。「巻き込む力」

が大事で、「私の子育て、良かったら手伝ってください」「何かあつ

たらご意見ください」と繰り返すこと。保護者の価値観だけでは子

どもは大きくならない。

ある学校に講演で行き、先生から

聞いたこと。今の子どもたちはお

りょうさん。勉強は良くできるが、

ひとつ気になることがある。「しつ

け」のフィルターを通過していくな



keyword 「スマホ」

●「言葉」は口から出てくる生きもの、宝もの。人の心に効くのか、突き刺されるのか。言葉には、消しゴムは使えない。量ではなく、質の良い言葉を。

●「スマホ」…オンラインでできる事はないかと模索していく中で、アンケートの集計など、対面での方法よりも早く楽に(合理的に)できる方法があることも実際にやってみて分かつてきました。今後は、「Witch」コロナ」として対面とリモートを使い分け、アナログとデジタルのハイブリッドで活動していくことが望ましい。そのためには、情報を収集し新しいことにチャレンジすることもこれからは大事なこと。

●「ストレス」…コロナ禍により子ども大人もストレスを抱えた1年だった。

コロナ禍による学校生活のさまざまなものを感じている。ストレスの表現や発散方法が分からず、内にため込んでしまう。子どもたちの変化を見逃せる(受け止める)「家族の在り

ます。

貴重なご意見を多数頂戴することが出来ました。今後の、施策に活かせるよう改善していきたいと思いま

す。

●「言葉」は口から出てくる生きもの、宝もの。人の心に効くのか、突き刺されるのか。言葉には、消しゴムは使えない。量ではなく、質の良い言葉を。

●「スマホ」…オンラインでできる事はないかと模索していく中で、アンケートの集計など、対面での方法よりも早く楽に(合理的に)できる方法があることも実際にやってみて分かつてきました。今後は、「Witch」コロナ」として対面とリモートを使い分け、アナログとデジタルのハイブリッドで活動していくことが望ましい。そのためには、情報を収集し新しいことにチャレンジすることもこれからは



このガイドブックは、担当副会長の「共通したマニュアルがなく、引き継ぎが難しい」という声を受け、初めての方でも安心して担当副会長ができるよう、担当副会長だけではなくその他の役員の方々にも、知識や情報の共有などに役立つていただきたいのです。また、年々アップデートを重ねていき、いずれは「誰でも

このガイドブックは、担当副会長の「共通したマニュアルがなく、引き継ぎが難しい」という声を受け、初めての方でも安心して担当副会長ができるよう、担当副会長だけではなくその他の役員の方々にも、知識や情報の共有などに役立つていただきたいのです。

第一部は、担当副会長の元永顯雄氏による「担当副会長ガイドブック」について、パワー・ポイントによる図や数字を使い、わかりやすく説明をしていただきました。

した。

副会長から「不安や迷いを払拭することができた」「引継ぎのプレッシャーが軽減された」「活動参加の後押しになる」など感謝のご意見が多く寄せられました。

第一部をじっくりとご覧になられた新旧の担当

PTA活動の参考にしていただければうれしいと話を締めくくられました。

第二部は、テレビでもおなじみのコラムニスト、トコさんによる講演会「PTAで見える景色が変わった」でした。トコさんは、「ご存知のとおり新聞やテレビで、コラムニスト、コメントーターとして活躍されていますが、「その原点はPTA活動にある」という興味深いお話でした。

息子さんが小学生のころ、PTA役員・会長をされていたトコさん。PTA活動に参加することで、学校や地域の方との関わりが増え、今まで見えなかつたことが見えてくるようになります。

トコさんによると、「PTA活動を通して得難い体験をすることで、よい人間関係が広がり社会生活をうまく生きるスキルを学びました。さらに、今の仕事への道が開け、今のがあるのはPTA活動のおかげです。今の経験が何につながるのかわからない、夢を持つて楽しくPTA活動をやっていただきたいです」と私たちへエールを送ってくださいました。

PTA会長・担当副会長 合同研修会



講師 トコさん プロフィール
コラムニスト、コメンテーター。1959年北九州市生まれ。KBC「アサデス」、FBS「めんたいワイド」などで本音と辛口トークが人気。久留米大学の非常勤講師(放送論)や一般社団法人「ピュアーマン」代表理事などを務め活動も多彩。最新刊「おひとりサマンサ」(西日本新聞社刊)では、生活のもやもやを解消し楽しく暮らす術を紹介。次男は、映画監督の松居大悟氏。趣味は、美容健康、風水、ゴルフ、俳句、アビスパ福岡応援など。



特別支援学校PTA連合会 レクリエーション大会

〈配信日〉
8/1~8/26

福岡市内8校(福岡中央・若久・屋形原・南福岡・東福岡・生の松原・今津・博多高等学園)の特別支援学校の児童生徒に向けて、保護者や先生方、福岡県レクリエーション協会、福岡こども短期大学が協力し、夏休み期間中に自宅で楽しめるようレクリエーションのYouTube動画を作成しました。



福岡こども短期大学の学生によるダンス。
子どもから大人まで大人気!あのアニメの歌で楽しく踊ります。

他にも特P連の保護者や先生方によるダンスや、自宅で簡単にできるゲームもあり、楽しいレクリエーションが盛りだくさんです。

昨年度、特P連レクリエーション大会は中止になりましたが、今年度は児童生徒が楽しめるレクリエーションプログラムを動画にして作成することができました。ご協力いただいた皆さま、ありがとうございました。



大崎賀代子先生による特別支援学校8校の児童生徒に向けて「こんにちはの歌」。色々なメロディーの「こんにちは」を、体を使ってボディバーカッションをしながら楽しめます。

「PTAの経験がなかったら、おっしゃるトコさん。初めは子供たちに見せる必要があるために行つたPTA活動が、気がつけば自分で自分

になり、自分にとって大きな社会勉強の場になつたと振り返つておられます。

「PTA活動を通して得難い体験をすることで、よい人間関係が広がり社会生活をうまく生きるスキルを学びました。さらに、今の仕事への道が開け、今のがあるのはPTA活動のおかげです。今の経験が何につながるのかわからない、夢を持つて楽しくPTA活動をやっていただきたいです」と私たちへエールを送っていました。

「未来への投資」
先日、ある先生とお会いし、とても考えさせられる内容のお話をさせていただきました。

教師A: 最近、SDGs 12番目の「生産・消費」に関心があるんです。

教師B: 私、不勉強で詳しく分からないのでですが?

教師A: 私たちは、大量生産・大量消費の時代に生きていますが、今後も果たしてそれでいいのでしょうか?

教師B: 食べ物や日用品など、無駄に廃棄している場面って確かに多いですね。

教師A: 作る側が、利益追求のために大量に生産し、消費者がその食品や製品を使った後にどの様に廃棄されるのか、作る側が果たして考えているのか疑問です。

教師B: 作ったはいいけど消費されないモノってたくさんあるし、ましてや廃棄の仕方まで考えるなんて、私は考えが及びませんでした。

教師A: われわれ教師でいうと、担任が学習プリントを印刷して配る時に、生徒の数よりも多めに印刷しますよね。



福岡市立吉塚中学校
校長 瀧田 文隆

コラム



各単位PTAでは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、PTA活動をオンラインで行ったり、これから行おうとしている状況だと思います。今まで対面で開催していた会議をオンラインで開催するというものが代表的ですが、会議だけではなく、アンケートのオンライン化や、手書きされていた文書もパソコン等を利用して作成したりする機会も増えていると思います。また、今まで学校のPTA会議室にはインターネットに接続する設備が無い場合が多く、各委員が自分のスマートフォンなどを使う必要がありました。今後は、IT導入によってPTA会議室でも委員のみなさまがPTA活動として自由にインターネットを利用する環境も必要になることもあると思います。このように、新型コロナウイルス感染症拡大防止による行動制限によって、PTA活動にITが急速に導入され、今後、行動制限が徐々に解除されても効率的なPTA活動のためにITは重要なものになると思います。しかし、PTA活動へのI

Tの導入は、学校内での詳しい方の有無、経済的な状況、学校の理解などにより、各単位PTA間で差が出てしまいがちです。あるいはIT導入の度合いの違いはすでに発生しているかもしれません。この差は時間とともに急激に拡がる可能性があります。IT導入はPTA活動を左右する要因になりやすいので、今後、深刻な問題が発生する可能性があります。また、専門家の助言に従った安全にITを導入・利用するためのマニュアルも必要です。そこで、福岡市PTA協議会は福岡市における単位PTAへのIT導入に関する問題を早急に把握、取り組み、解決するためにIT特別委員会を設置して、PTA活動に必要なITの取りまとめ、ITの活用やセキュリティに関するマニュアルの作成、学校への対応など、さらに、必要に応じてPTA役員とともに福岡市のPTA活動のIT推進を行う予定です。



第一回「学ビバ!! FUKUOKA」 10月23日(土)開催!!

平成17年から14回におよんで福岡県・北九州市・福岡市の3協議会が取り組んできた「Stop・サ・非行ふくおか」。

今年度からは「学ビバ!! FUKUOKA」と名称を変え、新たな一步を踏み出します。

14回の「Stop・サ・非行ふくおか」を貫いてきた「子どもの非行防止は大人の責任」という信念を引き継ぎ、私たちPTAは、常に保護者として、問い合わせていく姿勢こそが本質的な「学び」であり、子どもたちの周り(環境)を整えていく大切な役割と考えます。

「学ビバ!! FUKUOKA」の基となる「学び」「場」とは、誰かに正解を教え、教えられることではなく、自ら進んで楽しみながら、いろんなやり方を吟味し、「こうありたい自分になること」と考えると共に、場所という「空間性」、局面という「時間性」を「新たな知識が創造されるための組織的なエネルギーが集まるところ」ととらえました。

『保護者と子どもが生活し、学ぶ中心である家庭、学校、地域』

家庭で学び、学校で学び、地域社会で学ぶことを繰り返すことにより、未来に続く成長への自覚が芽生えます。

「生きることは学ぶこと」であり、保護者としての行動と自覚こそが家庭にもよい影響を与え、子どもと保護者が共に生涯にわたって学び育つ「生涯学習」の姿勢が必要であると考え、「学ビバ!! FUKUOKA」での発進に踏み切りました。

新たなキャラクター「サンビービーバー(仮)」も設け、「生涯教育の場」というところから出発し、「大人」の学びの場と位置づけ、成長し続けましょう。

皆さま、第一回目の「学ビバ!! FUKUOKA」をぜひお楽しみに!
会場でお会いいたしましょう。



新キャラクター「サンビービーバー(仮)」

令和3年度 福岡市PTA協議会 全市一斉PTA研修講座

令和3年6月23日(水)

例年夏頃に各区で行っておりました研修講座を、今年度は初の試みとして企画からYouTube配信まで、すべてを福岡市PTA協議会(以下協議会)のもとで行いました。

内容は2部構成で、第1部を協議会役員による「PTAの役割」についての説明と、今年度の事業で最も力を入れる「PTA活動活性化事業」のPRを行いました。

第2部は、福岡市教育委員会教育支援課PTA・家庭教育支援係の小崎俊司様による「人権意識を高めるPTA活動」の講話でした。

ともに「子どもたちの健やかな成長」を基盤にした内容を伝えさせていただきました。

配信当日とその後1週間の視聴者再生回数で2,359をカウントし、平日の午前中開催にも拘わらず多くの会員の方々に視聴していただきました。

アンケートでは、今年度の活動と来年度へつながる貴重なご意見や改善点などが数多く寄せられました。

全市一斉PTA研修講座は、初めての試みという不安もありましたが、撮影や配信に最後までご協力いただきました福岡市教育委員会や配信元の業者の方々にこの場をおかりして厚く御礼を申し上げます。

最後に一日も早く、新型コロナウイルス感染症が終息して、子どもたちや保護者の皆様にとって安心した日常・学校生活に戻り、研修講座で学んだことが一つでも子どもたちのために活かされることを切に願っています。



令和2年度 第14回「いじめ防止標語コンテスト」入賞作品一覧

いじめ防止標語コンテストは、いじめ防止に向け児童や生徒一人一人がいじめについて考える機会を創出し、夢や希望をもち笑顔あふれる学校づくりを進めることに貢献していくことを目的として実施されています。今回は全国の小中学校2,186校から426万通を超える作品を応募いただき、その中から入賞作品の選考が行われました。

福岡市内からは16,486作品の応募をいただきました。受賞作品は以下の通りです。受賞された皆さま、おめでとうございます。なお、令和2年度も前年度同様、新型コロナウイルスの感染リスクのため表彰式は中止とさせていただきました。

小学生の部

全国賞 静かだからって私をみくびらないで あなたがおもうより私はずっとつよいから。 青葉小学校 6年	優秀賞 かわってよ ずっとおにを したくない 有田小学校 1年	優秀賞 「だいじょうぶ?」 そのひとことでだいじょうぶ? 有田小学校 1年	優秀賞 「だいじょうぶ?」 安心して学校において。いつしょに遊ぼうよ。 花畠小学校 3年	PTA推薦賞 だいじょうぶ。ぼくが守るから!! 安心して学校において。いつしょに遊ぼうよ。 花畠小学校 3年	PTA推薦賞 「だいじょうぶ。ぼくが守るから!!」 安心して学校において。いつしょに遊ぼうよ。 花畠小学校 3年	佳作 いじめをね みたこともされたことも ないの ずっとこれがいいな 賀茂小学校 1年	佳作 いじめられたといきができないよ 城原小学校 2年	佳作 やめてよね いじめられるといきができないよ 城原小学校 2年	佳作 いいんだよ。そのままの君でいいんだよ。 そのままの君「が」いいんだよ。 日佐中学校 1年	佳作 「私じゃなくてよかつた」 そう思つたあなたもいじめの一員 原中学校 2年	特別賞 1人でいいけん 心の友が ほしいんだよ 西新小学校 4年
特別賞 なみだのしみはきえるけど 心のしみはずうとずつときえないの 城浜小学校 2年	特別賞 たのしいつもりのちょつかいが ちりもつもれば ふかいきず 香椎浜小学校 1年	特別賞 いじめっこ 心の中を のぞきたい 香椎東小学校 3年	特別賞 恵口を 聞いても言わない 流されない 西都小学校 4年	特別賞 いじめゼロプロジェクト賞 自分とちがうからいじめるんじやなくて、 自分とちがうから思いやる 高木小学校 6年	特別賞 「アイツ、学校にこないな」 それ、だれのせいだとと思う? 南当仁小学校 5年	特別賞 冷たい目 私が何かしましたか。 入部小学校 6年	特別賞 不安だな いつも優しい 友達も 裏で何か 言っているのかな 百道浜小学校 6年	特別賞 人の輪に 入る勇気と 入らぬ勇気 ひそひそや こそそそ話に くすくす笑い その3密は避けましょう 長丘中学校 2年	特別賞 PTA推薦賞 ひそひそや こそそそ話に くすくす笑い 一人一人 大事な命を 守るために いじめをみんなで 話さない? 長丘中学校 1年	特別賞 PTA推薦賞 ひそひそや こそそそ話に くすくす笑い 止められない・動かない足が、今の自分 止められない・動かない足が、今の自分 長丘中学校 1年	優秀賞 はじめよう、いじめのない 「新しい生活様式」 城西中学校 1年
佳作 ケンカと言ふけど ケンカした? 言つてない。今日も仲間外れで 1人じやん。 つらい。かなしい……ケンカじゃなくて、いじめだよ。 片江小学校 2年	佳作 「せつたい言わないで」を「言つたらころすよ。」 と言うけど 友だちに使うことばじゃないよ。 片江小学校 3年	佳作 大人の思いこみ、色メガネが 子供のいじめに つながっている。 舞鶴小学校 3年	佳作 裏で何か 言っているのかな いつも優しい 友達も 百道浜小学校 6年	佳作 「アイツ、学校にこないな」 それ、だれのせいだとと思う? 南当仁小学校 5年	佳作 冷たい目 私が何かしましたか。 入部小学校 6年	佳作 不安だな いつも優しい 友達も 裏で何か 言っているのかな 百道浜小学校 6年	佳作 やめてよね いじめられるといきができないよ 城原小学校 2年	佳作 やめてよね いじめられるといきができないよ 城原小学校 2年	佳作 いいんだよ。そのままの君でいいんだよ。 そのままの君「が」いいんだよ。 日佐中学校 1年	佳作 「私じゃなくてよかつた」 そう思つたあなたもいじめの一員 原中学校 2年	特別賞 はじめよう、いじめのない 「新しい生活様式」 城西中学校 1年
特別賞 大丈夫?より どうしたの?つて聞いてほしい 内浜中学校 2年	特別賞 時を戻そう? ついた傷は 戻らない 長丘中学校 3年	特別賞 友達の 言えない助けて 私が気付く あなたがはなつ 一言を 誰かが一生 花畠中学校 3年	特別賞 「いじめゼロプロジェクト賞 あなたがはなつ 一言を 誰かが一生 花畠中学校 3年	特別賞 「いじめゼロプロジェクト賞 一人一人 大事な命を 守るために いじめをみんなで 話さない? 高宮中学校 1年	特別賞 「いじめゼロプロジェクト賞 ひそひそや こそそそ話に くすくす笑い 止められない・動かない足が、今の自分 止められない・動かない足が、今の自分 長丘中学校 1年	佳作 DMMや SNSで 悪口言う 面と向かって 言えないとせに 城西中学校 2年	佳作 DMMや SNSで 悪口言う 面と向かって 言えないとせに 城西中学校 2年	佳作 SNS 送った言葉で SOS 壱岐中学校 1年	佳作 SNS 送った言葉で SOS 壱岐中学校 1年	特別賞 画面上 相手の気持ち 読み取れる? 和白丘中学校 3年	
佳作 まじびえん それは本当に ふざけかな 片江中学校 2年	佳作 「そう思う!」が少なくたつて 間違いやない 君の価値観 内浜中学校 2年	佳作 その言葉「笑」 ですましちゃ あかんぜよ いじめのワクチン 誰が最初に 開発する? 内浜中学校 2年	佳作 「いじめじゃない」 じゃああなたは 何をした? 長丘中学校 2年	佳作 「いじめじゃない」 じゃああなたは 何をした? 長丘中学校 2年	佳作 DMMや SNSで 悪口言う 面と向かって 言えないとせに 城西中学校 2年	佳作 SNS 送った言葉で SOS 壱岐中学校 1年	特別賞 画面上 相手の気持ち 読み取れる? 和白丘中学校 3年				

中学生の部

全国賞 はじめよう、いじめのない 「新しい生活様式」 城西中学校 1年	優秀賞 はじめよう、いじめのない 「新しい生活様式」 原中学校 2年	特別賞 画面上 相手の気持ち 読み取れる? 和白丘中学校 3年
特別賞 大丈夫?より どうしたの?つて聞いてほしい 内浜中学校 2年	特別賞 時を戻そう? ついた傷は 戻らない 長丘中学校 3年	特別賞 友達の 言えない助けて 私が気付く あなたがはなつ 一言を 誰かが一生 花畠中学校 3年
佳作 まじびえん それは本当に ふざけかな 片江中学校 2年	佳作 「そう思う!」が少なくたつて 間違いやない 君の価値観 内浜中学校 2年	佳作 その言葉「笑」 ですましちゃ あかんぜよ いじめのワクチン 誰が最初に 開発する? 内浜中学校 2年
佳作 DMMや SNSで 悪口言う 面と向かって 言えないとせに 城西中学校 2年	佳作 DMMや SNSで 悪口言う 面と向かって 言えないとせに 城西中学校 2年	佳作 SNS 送った言葉で SOS 壱岐中学校 1年

PTA広報紙コンクール

福岡市内の小学校・中学校から多数の応募があり、日本PTA全国協議会審査基準を基に厳正なる審査を行った結果、10校の広報紙を優秀作品として全国小・中学校PTA広報紙コンクールへ推薦させていただきましたことになりました。

また、このたび残念ながら優秀作品に選ばれなかった作品も、限られた活動内容を活かした広報委員会の皆さまの工夫や努力が感じられる作品ばかりでした。令和3年度も各単位PTAにおきまして、制限が生じた活動となりうる可能性もあるため、一層の工夫が求められることと思います。今後も広報活動の取り組みにご尽力いただきますよう、お願い申し上げます。



〔広報紙名〕
みやけタイムズ
〔PTA名〕
三宅小学校PTA
小



〔広報紙名〕
Mushiroda
〔PTA名〕
席田小学校PTA
小



〔広報紙名〕
もとおか
〔PTA名〕
元岡小学校PTA
小



〔広報紙名〕
OSA
〔PTA名〕
日佐小学校PTA
小



〔広報紙名〕
HARUYOSHI
〔PTA名〕
春吉小学校PTA
小



〔広報紙名〕
博多
〔PTA名〕
博多中学校PTA
中



〔広報紙名〕
青翠
〔PTA名〕
青葉中学校PTA
中



〔広報紙名〕
MIYATAKE
〔PTA名〕
宮竹中学校PTA
中

福岡市PTA協議会「ふよう」第137号をご覧いただきありがとうございます。今回の記事には、「会長・担当副会長合同研修会」と、「PTA啓発研修会」の内容を掲載させていただきましたが、ご覧になつてわかる通り、例年とは違い、どちらもオンラインでの開催でした。昨年にも増して、色々な活動がオンラインで執り行われるようになり、「新しい生活様式」が、身近になってきたと感じております。しかしながら、私が所属する単位PTAでも、まだまだオンラインの波に乗ることができておらず、今後のPTA活動にITをどう活用していくか?という課題があります。

こういった声を受けて、福岡市PTA協議会では、岡村新会長の挨拶でも触れていた、単位



編集後記

PTAのIT活用をサポートする特別委員会を設置する新しい動きが始まっています。次号の「ふよう」では、その特別委員会の活動内容について詳しくご紹介できると思います。お楽しみに。

(城家美和)

- 各校の活動の様子が写真付きで紹介されていて、とてもわかりやすかったです。
- 福岡市PTA協議会のホームページがあることを初めて知りました。QRコードはとても助かります。
- これからPTA活動についてイメージできる内容になっており、前向きな気持ちになりました。
- 要望書を市長に提出された記事もあり、活動の大切さが伝わりました。
- 何も活動したことがない方に

は、少し内容が難しい気がします。もう少し明るく元気な雰囲気でもよい気がします。
 ● 啓発研修大会がオンラインになりましたが、コロナ禍が明けてもこの形を維持していただきたいです。
 ● 市PTA協議会の活動は会員の皆さんにとって分かりにくく遠い存在だと思いますので、記事のボリュームは少なめに、トピックを多めに取り上げると興味を持つてもらえるのではないかと思いました。

今回の「ふよう」は、コロナ禍での単位PTA活動についての記事等、とても充実しており、すばらしいと感じました。会長様をはじめ、役員、広報委員の皆さまのご苦労も大変だったと思います。お礼申し上げます。

歴代会長会代表の塩川裕則様より

136号モニターアンケート